

株主の皆様へ



新たな体制で 日清食品グループは、これからの 50年をスタートしました。

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、ここに第61期中間(2008年4月1日から
2008年9月30日まで)株主通信をお届けするにあたり
一言ご挨拶申し上げます。

■ 持株会社移行について

2008年10月1日、日清食品は、日清食品ホールディングスに商号を変更し、持株会社へと移行しました。これは日清食品、明星食品、日清食品チルド、日清食品冷凍、日清シスコ、日清ヨークを始めとする国内外の事業会社の独立性を高め、より機動的で迅速な判断を尊重し、個々の事業の成長性を高めることが狙いです。

グループの理念は「EARTH FOOD CREATOR」です。地球食の創造者という意味ですが、様々な「食」の可能性を追求し、夢のあるおいしさを創り、社会や地球に貢献しようという気持ちを込めています。また、土から生まれた素材を使って食品を作る会社という、自然に立脚した会社の意味もあります。当社グループは、このようなモノづくりを使命とし、様々な食品カテゴリの中で強いブランドを創造・育成する「ブランディング・コーポレーション」を目指してまいります。

本年、当社は創業50周年を迎えましたが、創業者・安藤百福が播いた一粒の種が世界へ広まり、インスタ

ントラーメンは、世界で年間1,000億食が消費される地球食となりました。世界需要は10年後には2,000億食に達するとも言われています。増大するニーズに対応すべく、新たな体制のもとインスタントラーメン事業の海外展開も一層加速してまいります。

また、日清食品グループは、今後50年間に100の社会貢献活動を行う「百福土」事業を本年からスタートしています。あわせて、創業以来の基本方針である「食の安全・安心」の確保や、環境対策などのCSR活動を徹底して推進し、信頼される企業グループづくりを進めてまいります。

■ 事業の概況

国内即席めん業界を取巻く環境は、少子・高齢化の進行に伴うヘビーユーザー層の減少という構造的な問題に加え、小麦粉をはじめとする原材料価格の高騰による製造コストの上昇等により、経営環境は一層厳しさを増しています。また、食材への世界的な不信心、

国内食品企業の不祥事が相次ぎ、消費者の食への信頼が大きく揺らいでいます。当社におきましても、10月に連結子会社の一部製品において防虫剤成分等の検出に関する報道がなされました。

調査の結果、製造段階での混入の可能性はないことを確認しましたが、防虫剤、殺虫剤、洗剤等の臭いの強い物の側に当社製品を置くと、それらの臭いを吸収することを当社食品安全研究所で確認しております。当社では、より安心して召し上がっていただけるよう製品の更なる改良に取り組んでまいります。

当四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は、前年同期比8.1%減の1,744億12百万円となりました。

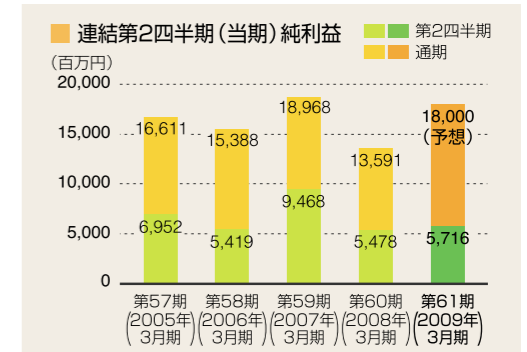
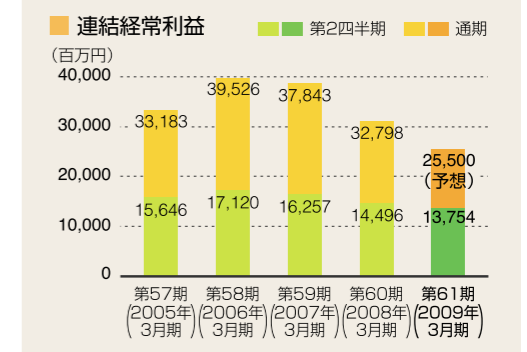
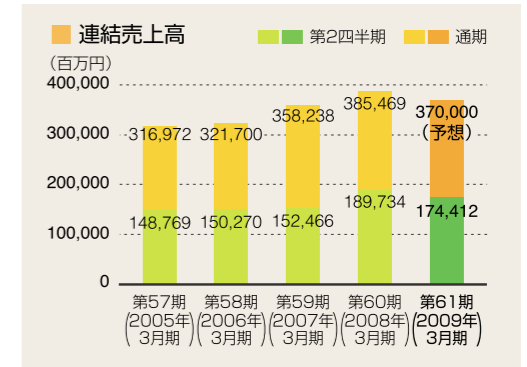
利益面では、退職給付関係費用の増加や、主要原材料の相次ぐ値上げがありました。主カブランド品の品質向上による価値訴求とオープンブライズ製品の売上増、共同開発製品の強化等の営業政策及び生産体制や資材購入に関する明星食品とのシナジー効果等により、価格改定による影響を最小限にいとめ、営業利益で115億26百万円(前年同期比1.8%増)と増益を確保しました。しかしながら、経常利益は、為替差損もあり、137億54百万円(前年同期比5.1%減)となりました。当四半期連結累計期間の純利益は、減損損失が無くなったこともあり、57億16百万円(前年同期比4.4%増)となりました。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2008年11月

日清食品ホールディングス株式会社
代表取締役社長・CEO

安藤宏基



特集

2008年10月1日、日清食品ホールディングス誕生。 持株会社制に移行し、「日清食品グループ」として 新たなスタートを切りました。

10月1日からスタートした日清食品グループの持株会社体制は、トップダウンのピラミッド型ではなく、持株会社が事業会社の多様性を下支えする存在となります。通常持株会社はファイナンス等が中心ですが、日清食品ホールディングスは、むしろ事業基盤の開発を行う、独自の機能会社の役割を担います。

グループ約16,500人の力を結集し、グループとしてのシナジー効果を生み出しつつ、各事業会社の自主性を更に高め、より機動的な体制を構築することで、個々の事業の成長性を高めてまいります。



日清食品グループ

日清食品ホールディングス株式会社/日清食品株式会社/明星食品株式会社/日清食品チルド株式会社/日清食品冷凍株式会社/日清シスコ株式会社/日清ヨーク株式会社/味の民芸フードサービス株式会社/日清食品ビジネスサポート株式会社/札幌日清株式会社/日清エフ・ティ食品株式会社/日清化成株式会社/香川日清食品株式会社/日清エンタープライズ株式会社/味日本株式会社/西日本明星株式会社/株式会社ユニ・スター/明星サブライザー株式会社/埼玉日清食品株式会社/株式会社明星フレッシュ/四国日清食品株式会社/高松日清食品株式会社/三重日清食品株式会社/株式会社サークルライナース/株式会社ニッキーフーズ/株式会社マルニコーポレーション/東京屋食品株式会社/株式会社フーズ/バレット/山東仁木食品株式会社/清仁木食品株式会社/山東マリーシャン食品株式会社/山東仁木一合食品株式会社/日清(上海)食品安全研究開発有限公司/日清食品アセットマネジメント株式会社/宇治開発興業株式会社/日清ネットコム株式会社/NISSIN FOODS(U.S.A.) CO.,INC./MYOJO U.S.A.,INC./NISSIN FOODS DE MEXICO S.A.DE C.V./NISSIN-AJINOMOTO ALIMENTOS LTDA./日清食品(香港)管理有限公司/日清食品(中国)投資有限公司/上海日清食品有限公司/廣東順德日清食品有限公司/珠海市金海岸永南食品有限公司/港永南食品(深圳)有限公司/INDO NISSIN FOODS LTD./ACCELERATED FREEZE DRYING CO.,LTD./MYOJO FOODS CO.,(S) PTE.LTD./NISSIN FOODS (THAILAND) CO.,LTD./THAI PRESIDENT FOODS PUB. CO.,LTD./PT.NISSINMAS/NISSIN-UNIVERSAL ROBINA CORPORATION/NISSIN FOODS Kft./NISSIN FOODS GmbH

日清食品グループ理念・ビジョン

日清食品グループは持株会社制への移行にあたり、多様性のあるそれぞれのブランドを強化して各事業会社の成長を促すとともに、グループとしての統一性を図るため、グループ全員で共有していくコンセプトを開発しました。次の50年に向けて、このコンセプトに基づきグループ一丸となって進んでまいります。

グループ理念 私たちの存在意義

変わり続ける私たちの、変わらない目標

どのようなときにも変わらない日清食品グループの意志、普遍的な考え方を明文化したものがグループ理念です。社会にとっての日清食品グループの存在意義を表した言葉です。

私たち日清食品グループは、さまざまな「食」の可能性を追求し、夢のあるおいしさを創造していきます。さらに、人類を「食」の楽しみや喜びで満たすことを通じて、社会や地球に貢献します。

EARTH FOOD CREATOR

グループビジョン 私たちの向かう方向性

進むべき未来を指し示す道しるべ

グループ理念を実現するために、この先、目指していく方向性を示したものがグループビジョンです。日清食品グループは「食」の可能性を結集するとともに、グループの力を結集することで、お客様へ常に新しいことを提案し続けていきます。

私たち日清食品グループは、「食」の持つ力を結集して、一人ひとりにとっての「おいしさ」を、もっと価値あるものへと変えていく「食」創造グループを目指します。

UNITE FOOD POWERS

連結決算の状況

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	第61期 (2008年9月30日現在)	第60期 (2008年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	151,386	157,633
固定資産	245,595	235,061
有形固定資産	95,776	93,802
無形固定資産	5,148	4,321
投資その他の資産	144,671	136,937
資産合計	396,982	392,694
負債の部		
流動負債	84,093	80,934
固定負債	25,306	22,916
負債合計	109,399	103,850
純資産の部		
株主資本	288,456	285,803
資本金	25,122	25,122
資本剰余金	49,755	49,754
利益剰余金	227,929	225,269
自己株式	△ 14,350	△ 14,342
評価・換算差額等	△ 7,126	△ 3,337
その他有価証券評価差額金	1,820	3,589
土地再評価差額金	△ 7,532	△ 7,532
為替換算調整勘定	△ 1,413	605
少数株主持分	6,252	6,377
純資産合計	287,582	288,844
負債純資産合計	396,982	392,694

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	第61期 (2008年4月1日から 2008年9月30日まで)	第60期 (2007年4月1日から 2007年9月30日まで)
売上高	174,412	189,734
売上原価	97,381	95,745
売上総利益	77,031	93,989
販売費及び 一般管理費	65,504	82,668
営業利益	11,526	11,320
営業外収益	2,798	3,289
営業外費用	570	113
経常利益	13,754	14,496
特別利益	506	202
特別損失	2,019	2,850
税金等調整前 四半期純利益	12,241	11,848
法人税等	6,448	6,431
少数株主利益	76	△ 60
四半期純利益	5,716	5,478

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 資産、負債、純資産の状況

■ 総資産

前連結会計年度末より42億87百万円増加し、3,969億82百万円となりました。その主な要因は有形固定資産及び投資有価証券が増加したことによるものです。

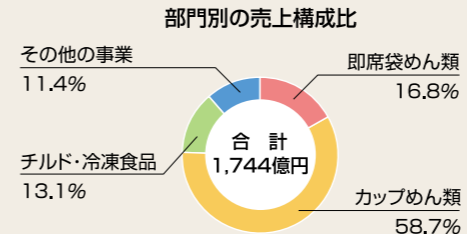
■ 負債

前連結会計年度末より55億48百万円増加し、1,093億99百万円となりました。この主な要因は未払金は減少したものの、支払手形、買掛金、短期借入金及び退職給付引当金が増加したことによるものです。

■ 純資産

前連結会計年度末より12億61百万円減少し、2,875億82百万円となりました。この主な要因は利益剰余金、その他有価証券評価差額及び為替換算調整勘定の変動によるものです。

■ 部門別の売上状況



■ 即席袋めん類

売上高 292億47百万円 (前年同期比9.3%減)

即席袋めん類では、当四半期に世界初の即席めんである「チキンラーメン」が発売50周年を迎え、より利便性を高めた「W(ダブル)たまごポケット付き」にリニューアルを行ったほか、「復刻版5食パック」や「50周年記念製品」を投入する等、積極的な販売活動を行いました。また、物価に敏感な消費者マインドを捉えた、オープンプライス製品の明星食品「評判屋」も、売上を大きく伸ばしました。しかし、新価格浸透のために主力ブランド品のチラシ特売等を控えた結果、全般的には数量はダウンし、減収となりました。

■ カップめん類

売上高 1,024億59百万円 (前年同期比11.4%減)

「カップヌードル」シリーズのECOカップ化等による主力ブランドの価値向上に努め、ブランド価値訴求と新価格浸透を主とした販売政策を展開しました。CVS業態ではこれが受け入れられ、価格改定後も売上が順調に推移しましたが、量販店業態では、チラシ特売の減少により数量ダウンが見られました。一方で、「スープヌードル」等のオープンプライス製品群が受け入れられ、売上を伸ばしました。また、「日清Chin」シリーズ、「日清レンジSpa王」等のレンジ製品群の積極的な拡販を行う等、全体の数量が徐々に回復に向かう基調にありましたが、夏の猛暑がプレーキをかける結果となり、全体数量はダウンし、減収となりました。

■ チルド・冷凍食品

売上高 228億21百万円 (前年同期比2.7%増)

チルド・冷凍食品の部門では、チルド食品の「つけ麺の達人」シリーズ、「日清焼うどん」シリーズが、また、冷凍食品では、新発売の「冷凍日清スバ王とろっとたまごカルボナーラ」等が好調な売上を示しました。これらの結果、チルド・冷凍食品全体の売上高は増収となりました。

■ その他の事業

売上高 198億84百万円 (前年同期比1.2%増)

その他の事業では、乳酸菌飲料「ビルクル」、シリアル食品「シスコーンBIG」が引き続き堅調な販売で推移し、当事業の売上高は増収となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	第61期 (2008年4月1日から 2008年9月30日まで)	第60期 (2007年4月1日から 2007年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,937	8,790
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 23,197	△ 15,185
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,652	△ 2,137
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 802	656
現金及び現金同等物の増減額	△ 14,714	△ 7,877
現金及び現金同等物の期首残高	78,774	76,694
現金及び現金同等物の四半期末残高	64,059	68,817

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ キャッシュ・フローの状況

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは129億37百万円の収入となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益122億41百万円、減価償却費37億4百万円等であり、主なマイナス要因は、法人税等の支払額66億28百万円、未払金の減少額21億91百万円等であります。

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは231億97百万円の支出となりました。主なものは、投資有価証券の取得による支出249億13百万円等であります。

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは36億52百万円の支出となりました。主なものは、配当金の支払額30億56百万円等であります。

製品のご案内

日清食品

日清のどん兵衛 天ぶらそば



ぴんと真っ直ぐな「びんそば」になり、すずり心地と、のどごしが格段に上がりました。
発売地区：全国

日清のどん兵衛 きつねうどん



白く、真っ直ぐ、厚みのある「べっぴんうどん」になり、のどごしとコシが更によくなりました。
発売地区：全国

カップヌードルレンジ マンハッタンクラムチャウダー

カップヌードルレンジ ニューイングランドクラムチャウダー

水からレンジでカップヌードル。
“煮込んだスープがおいしい”トマト風クラムチャウダーとクリーム風クラムチャウダー。

発売地区：全国



最後に入れる「FINISHING OIL」がクラムのうまさと香りを更に引き立たせます。



日清食品チルド

つけ麺の達人 濃厚味噌だれ 2人前

つけ麺専用極太麺と濃厚だれで好評の「つけ麺の達人」より、濃厚味噌だれが新登場。

発売地区：北海道、沖縄を除く全国



極太らーめん 濃厚魚介醤油 2人前

老舗製麺所「浅草開化楼」監修の極太麺と、和風だしとゆずの香りがきいた濃厚醤油スープ。

発売地区：北海道、沖縄を除く全国

日清食品冷凍

冷凍 日清具多 海鮮ちゃんぽん

冷凍だからできる驚きの海鮮具材。めんとスープ、具材が一体化したお鍋にポン!の簡単調理。

発売地区：全国



冷凍 日清どんぶりの達人 かつ丼の具

冷凍だからできる本格的なカツ丼の具。電子レンジと専用トレー（スルっとトレー）で簡単に達人の仕上がり。

発売地区：全国

製品のご案内

明星食品

明星 ラーメンの底力 太麺と濃厚みそ

めんとスープの組み合わせにこだわった「香リスパイス」付きのカップめん。

発売地区：全国



明星 一平ちゃん 担々麺

ゴマの風味豊かな芝麻醬とラー油でコクのあるみそ味ベースの担々麺。

発売地区：全国

日清シスコ

- しっとりケーキ 焼いも
- しっとりケーキ 抹茶あずき

ふっくらおいしい焼いもの味わいと、香り豊かな抹茶の味わいのしっとりやわらか和風ケーキ。

発売地区：全国



日清ヨーク

おいしい十勝のむヨーグルト 1000ml

北海道十勝産の乳原料を使用した長時間はっ酵のむヨーグルト。

発売地区：東日本



会社データ

(2008年10月1日現在)

会社概要

商号	日清食品ホールディングス株式会社 (NISSIN FOODS HOLDINGS CO., LTD.) ※2008年10月1日付、日清食品株式会社から商号変更	従業員数	334名
設立	1948年9月	東京本社の所在地	東京都新宿区新宿六丁目28番1号
資本金	25,122,718,774円	大阪本社の所在地	大阪市淀川区西中島四丁目1番1号
		事業内容	グループ事業会社(国内・海外)への経営サポート等

役員及び執行役員

取締役

代表取締役 取締役社長・CEO	安藤 宏基
代表取締役 専務取締役・COO 中国総代表 兼 日清食品(株)代表取締役社長	中川 晋
常務取締役 日清食品チルド(株)代表取締役社長 兼 日清食品冷凍(株)代表取締役社長	松尾 昭英
常務取締役・CSO	成戸 隆之
取締役・CSO	松村 泰治
取締役 米州総代表 兼 米国日清社長	笹原 研
取締役・CFO	柳田 隆久
取締役・CMO	安藤 徳隆
取締役・CAO	鉄林 修
取締役・CPO	横越 隆史
取締役・CQO 食品安全研究所長	山田 敏広
取締役・CDO 食品総合研究所長	田中 充
取締役 明星食品(株)代表取締役社長	永野 博信
取締役(社外取締役)	小島 順彦
取締役(社外取締役)	小林 栄三

監査役

常勤監査役	寺田 雄一
常勤監査役	牧園 俊作
監査役(社外監査役)	堀之内 徹
監査役(社外監査役)	高野 裕士

執行役員

執行役員・総務部長	右近 龍也
執行役員・アジア総代表	楠本 一人
執行役員・技術統括部長	坂井 孝司
執行役員・宣伝統括部長	佐々木 智
執行役員・内部監査室長	西尾 正美
執行役員・広報部長	服部 秀樹
執行役員・財務経理部長	横山 之雄

CEO Chief Executive Officerの略記(最高経営責任者)
COO Chief Operating Officerの略記(最高執行責任者)
CSO Chief Strategy Officerの略記(グループ国内戦略責任者、グループ国際戦略責任者)
CFO Chief Financial Officerの略記(グループ財務責任者)
CMO Chief Marketing Officerの略記(グループマーケティング責任者)
CAO Chief Administrative Officerの略記(グループ管理責任者)
CPO Chief Production Officerの略記(グループ生産責任者)
CQO Chief Quality Officerの略記(グループ安全研究責任者)
CDO Chief Development Officerの略記(グループ食品総合研究責任者)

株主メモ

事業年度：毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間

配当金受領株主確定日：期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

単元株式数：100株

定時株主総会：6月中

基準日：3月31日
その他必要あるときは、あらかじめ公告して定め
ます。

公告の方法：電子公告の方法により行います。ただし、電子公
告によることができない事故その他のやむを得
ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載す
る方法により行います。
公告掲載URL
<http://www.nissinfoods-holdings.co.jp/koukoku/>

株主名簿管理人：東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所：大阪市北区曽根崎二丁目11番16号
みずほ信託銀行株式会社
大阪支店証券代行部

同取次所：みずほ信託銀行株式会社
本店及び全国各支店
みずほインバスターズ証券株式会社
本店及び全国各支店

郵便物送付先
及びお問合せ先：〒135-8722
東京都江東区佐賀一丁目17番7号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-288-324 (フリーダイヤル)

ご注意：2009年1月5日からの変更ご案内
(1) 株主名簿管理人の「取次所」について
株券電子化後、株主様の各種お手続きは、原
則として口座を開設されている証券会社を
通じて請求・届出いただくこととなり、株主名
簿管理人の「取次所」では受付することがで
きませんので、ご注意ください。
なお、未払配当金のお問合せは、引き続き受付
いたします。
(2) 郵便物送付先及びお問合せ先の住所変更について
次のとおり住所が変更になります。名称、フ
リーダイヤル番号の変更はありません。
(変更後) 〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号

上場金融商品取引所：東京証券取引所市場第一部
大阪証券取引所市場第一部

お知らせ

(1) 単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式(100株未満)をご所有の株主様
は、その単元未満株式と併せて1単元の株式数
(100株)となる株式の買増請求、又は単元未満
株式の買取請求(当社に対する売却)をすること
ができます。

お手続きをご希望されます株主様は、左記の株
主名簿管理人にお問合せ先までご連絡下さい。

(2) 株主様専用電子メールアドレスのご案内

当社は、株主様からのご意見をお電話、お手紙
のほかに電子メールを利用してお寄せいただくた
めの専用電子メールアドレスを設けております。

当社について日頃お気づきの事柄がございましたら、次のメールアドレスまでご意見をお寄せ
下さい。

なお、お電話、お手紙でもお待ち申しあげてお
ります。

① 株主様専用電子メールアドレス

E-mail soumu@nissinfoods-holdings.co.jp

② ご連絡先

〒160-8524

東京都新宿区新宿六丁目28番1号

日清食品ホールディングス株式会社

管理本部 総務部 株主様係

TEL (03) 3205-5111 (代表)

FAX (03) 3205-5059

E-mail soumu@nissinfoods-holdings.co.jp

株主様ご優待

基準日	対象株主様	ご優待内容
3月31日 (6月贈呈) 及び 9月30日 (12月贈呈)	100株以上 1,000株未満 ご所有の株主様	1,500円相当の 当社グループ会社の 製品詰合せ
	1,000株以上 ご所有の株主様	3,500円相当の 当社グループ会社の 製品詰合せ

日清食品ホールディングス株式会社

東京本社 〒160-8524 東京都新宿区新宿六丁目28番1号
TEL (03) 3205-5111 (代表)

大阪本社 〒532-8524 大阪市淀川区西中島四丁目1番1号
TEL (06) 6305-7711 (代表)

ホームページ <http://www.nissinfoods-holdings.co.jp/>



大豆インキを使用しています。